連絡先：〒241-0821 旭区二俣川 1-5（こがゆ康弘事務所）　ホームページは こがゆ 検索
TEL/FAX: 045-366-9381 メール：info@kogayu.net　http://www.kogayu.net

東日本大震災から４年。「3月11日」に想う。

未曽有の大災害となった東日本大震災が発生して、3月 11 日で 4 年が経過しました。みなさんはあの日、あの時、どこにいらしたでしょうか？　死者・行方不明者の数は 18,480 人に上り（2/10 現在）福島第一原発事故による放射能汚染の影響もあり、未だに仮設住宅等に避難・転居されている方は 22 万人を数えます。横浜でも震度５強を観測し、死者２名、負傷者 64 名のほか、発災当日には多くの方々が帰宅困難者となりました。私たちはあの時の深い悲しみと辛さを決して風化させることなく、被災者に寄り添って震災復興と福島の再生をやり遂げなければなりません。

こがゆ康弘はこれまで、複数回にわたり被災地を訪れ、復興状況や行政の役割などを視察してまいりました。これからも、災害に強い横浜市と市民生活の安全・安心の実現のために、防災・減災対策に取り組んでまいります。

東日本大震災後に新たに策定された横浜市の主な防災施策

- 地震被害想定の抜本的見直しに伴う横浜市防災計画「震災対策編」の改定
  （元禄型地震では死者 3,260 人、負傷者 21,700 人、建物の全壊 34,300 棟など）
- 区庁舎などの公共建築物の耐震化と木造住宅密集市街地の建替え促進
- 津波防護施設の整備と津波避難タワー、津波警報伝達システムの整備
- 急傾斜地（がけ地）崩壊対策、液状化対策とハザードマップの作成
- 地域防災拠点の強化、防災備蓄品の種類・数の改善と防災訓練の支援
- 上下水道などのライフライン施設の耐震化、帰宅困難者の安全確保対策
- 災害時物資輸送ネットワークの強化と災害時医療体制の充実・強化

平成 26 年度　旭区区民意識調査結果の一部を報告します！

旭区役所では区民の皆様が日頃の旭区での生活をどのように感じ、どんな点を課題と思っているのかを知り、区政推進の参考とするため、「区民意識調査」を実施しています。この度 3 年ぶりに実施しましたので、その結果の一部を紹介します。

＜心配ごとや困りごとはあるか？　の質問に対する回答は・・・＞

下の表で示すように、年齢層によりその傾向が異なっています。若年層は「仕事や生活費のこと」が、高齢層では「病気や老後のこと」となっています。しかし、全世代で「地震・災害のこと」が上位を占め、今後の施策展開には年齢層別対応と災害対策の充実が求められます。

単位：％　（）：順位、＿＿：区平均から＋10%以上高い数値

順位	項目	区平均	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
1	自分の病気や老後のこと	60.3	42.4 (5)	62.4 (3)	60.7 (4)	64.2 (1)	57.1 (1)	63.3 (1)
2	家族の健康や生活上の問題	56.3	55.9 (2)	66.5 (2)	63.0 (2)	60.2 (2)	51.0 (2)	49.9 (2)
3	地震・災害のこと	50.7	50.0 (3)	60.9 (5)	61.5 (3)	51.6 (4)	47.7 (3)	42.9 (3)
4	仕事や職場、景気や生活費のこと	49.0	67.8 (1)	70.6 (1)	63.0 (1)	54.9 (3)	40.0 (5)	31.1 (5)
5	治安・防犯のこと	45.5	46.6 (4)	57.9 (6)	59.5 (5)	41.5 (5)	41.6 (4)	37.7 (4)
6	住宅のこと	40.1	36.4 (6)	57.9 (6)	50.8 (7)	40.7 (7)	36.1 (6)	30.1 (7)
7	道路整備・公共交通の利便	39.2	33.9 (7)	53.3 (8)	48.5 (8)	41.5 (5)	35.5 (7)	30.3 (6)
8	悪臭・騒音、その他環境問題のこと	34.5	29.7 (8)	41.6 (9)	39.7 (9)	39.8 (8)	29.4 (8)	29.6 (8)
9	子育てや学校、教育のこと	30.8	28.8 (9)	61.4 (4)	55.7 (6)	28.5 (9)	16.8 (10)	16.6 (10)
10	近所づき合い	29.6	22.9 (10)	40.6 (10)	38.9 (10)	27.2 (10)	24.8 (9)	25.6 (9)
		n=1,687	n=118	n=197	n=262	n=246	n=310	n=469

地下鉄ブルーライン快速（急行）運転の詳細決まる！

横浜市営地下鉄ブルーラインはこれまで、湘南台からあざみ野までの 32 駅間（40.4ｋｍ）を各駅に停車し運行を続けてきました。しかし、今年の７月から**快速運転**を行うことが決定しました。

快速運転の実施に合わせ、朝６時台に上下線各１本、夜間９時～11 時台に上り３本、下り２本を増便するダイヤ改正も行われます。この快速運転のアイデアは市民の声を受けたものですが、民主党横浜市会議員団が長年にわたって市側に質問や要望を続け、ようやく実現にこぎつけたものです。

今後はダイヤに余裕のある土休日に関しては快速運転を全日にわたって実施できるように要望するなど、更なる利便性の向上に向けて働きかけを行っていきます。

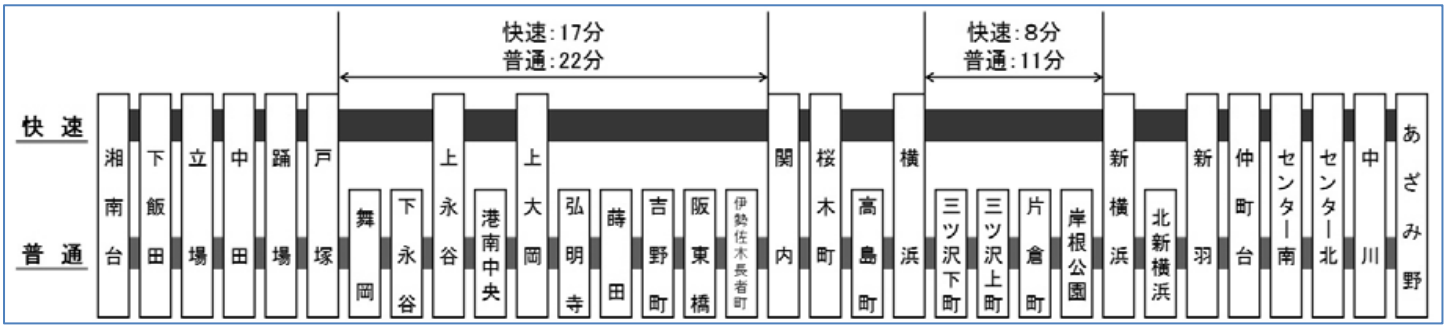
【快速運転の概要】

(1) 運行時間帯：平日・土休日とも、10 時から 16 時の時間帯に運行

(2) 運転本数　：現行の各駅への停車本数（１時間あたり８本）を維持しつつ、新たに快速列車を１時間あたり２本増便

(3) 所要時間　：全線（あざみ野駅～湘南台駅）で普通列車に対して最大 10 分程度短縮

(4) 快速停車駅：



こがゆ康弘　平成27年度予算特別委員会で市政を質す！

５年連続の増額予算となった平成27年度予算を審査する予算特別委員会において、**こがゆ康弘**は、委員会の副委員長として審議の仕切り役を行うとともに、都市整備局に対する質問を行いました。

２月25日の都市整備局に対する質問と答弁の要旨

＜こがゆ康弘＞二俣川駅南口再開発事業に関し、工事期間中における駅への歩行者動線やバス利用者などにどのような配慮を行うのか？

＜局長＞施行状況によって歩道の位置を変えながらバリアフリーにも配慮して駅への動線を確保する。また、バスロータリーは地区東側に仮移転する。変更内容は近隣住民や駅利用者などに事前周知する。

＜こがゆ康弘＞現時点での工事車両のアクセス動線の考え方は？

＜局長＞さちが丘の陸橋を経由することで検討している。また、同時施工の鴨居上飯田線（道路）とも調整を図る上で、近隣の迷惑にならないよう検討を進めていく。

＜こがゆ康弘＞神奈川東部方面線、相鉄・ＪＲ直通線に関して鶴見駅への停車に関する見解は？

＜局長＞鶴見駅への停車には地元の費用負担やＪＲ貨物の協力が前提となる。今後、ホーム設置に関する技術的な検討や需要動向、費用対効果など事業化の判断に必要な調査検討を進めていく。

横浜市会議員（旭区選出）
こがゆ康弘（やすひろ） プロフィール

超行動派。

【趣　味】
釣り、バスケットボール
読書、模型製作…
【資　格】
１級土木施工管理技士
コンクリート技士

13 年間の民間企業勤務を経て、横浜市政を志す。
２００６年初当選（現在３期目）
【2014 年度】
常任委員会：経済・港湾委員会
特別委員会：大都市行財政制度特別委員会
議会運営委員会（副委員長）

小さなことでも気軽にご相談下さい！
“地域の声”が活動の源です！

連絡先：〒241-0821 旭区二俣川1-5（事務所）
TEL/FAX：045-366-9381
メール：info@kogayu.net
http://www.kogayu.net
こがゆ　検索